



令和6年12月25日

各位

会社名 ファーマライズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 秋山 昌之
(東証スタンダード・コード番号 2796)
問合せ先 取締役 沼田 豊
(TEL. 03—3362—7130)

中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、令和3年12月24日に公表しました「中期経営計画 LSG (Leading to Sustainable Growth) 2024」(以下、「本中計」といいます。)の見直しにつき、令和6年8月9日に公表いたしました。本日「令和7年5月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表したとおり、中期経営計画の最終年度にあたる令和7年5月期の計画を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 見直しの内容

○ 定量目標：令和7年5月期(最終年度)

	前回見直し計画	今回見直し計画
売上高	608.8億円	647.3億円
営業利益	9.4億円	3.5億円
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)	0.4億円	△2.1億円
ROIC ^{注1}	1.6%	0.1%

注1：ROIC (Return On Invest Capital) = 税引後営業利益 ÷ 投下資本(純資産+有利子負債)

2. 見直しの背景

当社は、令和3年12月24日に令和7年5月期を最終年度とする「中期経営計画 LSG (Leading to Sustainable Growth) 2024」(以下、「本中計」といいます。)を発表し、現在、本中計の目的“日本の人口の3分の1が65歳以上の高齢者になる2030年に向け、持続的な成長基盤を築く”を達成するために、本中計の基本方針に沿った取り組みを推進しております。本中計策定後の取り組みにより、定性目標につきましては順調に進捗しており、定量面でも、売上高につきましては目標を達成する見込みである等、一定の成果を収めております。

本中計につきましては、令和6年8月9日付でその見直しにつき公表しておりましたが、その後の進捗状況、

令和6年4月に実施された薬価改定の影響、仕入環境の変動及び給与水準の引き上げ等の人的資本投資強化、M&Aの影響等を考慮し、本中計の最終年度の定量目標を再度見直すことといたしました。

なお、定量目標以外の基本方針や定性目標については、現行の本中計の内容から変更はございません。

3. 定性目標の進捗状況

定性目標の進捗状況につきましては、令和6年8月9日に公表した「中期経営計画の見直しに関するお知らせ」にて報告いたしております。ご参考までに、それ以降の進捗状況・変更点等は以下のとおりです。

① 投資家に選ばれる会社になるための取組強化

ESG、SDGsへの取組	令和5年8月に「社会への長期的価値提供に向けた当社の重要課題（マテリアリティ）」とそれらに係る21の課題を開示いたしました。当該課題のKPIにつき、サステナビリティ委員会において協議・検討し、取締役会の承認を得たうえで決定し、令和6年12月13日に公表しております。なお21ある課題のうちの1つに関するKPIについては、現在検討中であります。
IRの拡充	決算発表の早期化に取り組みにつきましては、令和7年5月期は、前期対比で、第1四半期は7日短縮、第2四半期は12月25日開示で同日、となっております。

② 調剤事業を核とした事業展開による収益獲得強化

地域医療への貢献強化	本日時点において、地域住民の健康意識を高め健康寿命の延伸に貢献する「健康サポート薬局」79店舗、新型コロナ感染症等で貢献した「地域連携薬局」103店舗、がん患者対応の拠点となる「専門医療機関連携薬局」4店舗を運営しており、前回見直し計画発表時点から、順番に、3店舗の増加、1店舗の減少、1店舗の増加となっております。今後ともこれらの増強を推進してまいります。
新規出店による収益獲得強化	前回見直し計画発表から本日までに、調剤薬局事業においては、1店舗を新規開局し、M&Aにより55店舗を取得する一方で、5店舗の閉局を実施しております。

③ 経営基盤の更なる強化

DXを活用した効率化・新たな価値提供	当社ではオンライン服薬指導サービス「ポケットミーティング」を提供しておりますが、オンライン診療を利用する患者の処方せんを応需する体制をさらに充実させるため、ジェイフロンティア株式会社の提供するオンライン服薬指導・処方薬配送サービス「SOKUYAKU（ソクヤク）」を導入い
--------------------	---

	<p>たしました。今期中に電子処方せん応需を全店で対応可能とする予定ですが、合わせて各種オンラインサービスの充実に取り組んでまいります。</p>
<p>人的資本への投資強化</p>	<p>令和6年11月24日に第11回学術大会を実施しております。本学術大会では、調剤部門のみならず、非調剤部門並びに本社管理部門も日頃の取り組み事項や成果等を発表いたしました。</p>

以 上